

文学

三鷹

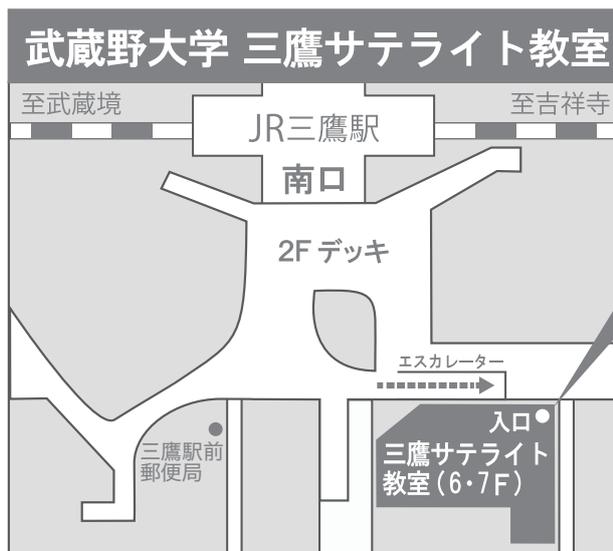
0301014

芭蕉の連句を味わう

— 芭蕉の連句「鳶の羽も」の巻の鑑賞 —

受講料 (振込額)	2,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	水曜日		日程 6月30日	
	時間	13:00～15:00			
	回数	全1回	定員		25名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学非常勤講師 永田 英理 (ながた えり)				
	武蔵野大学・白百合女子大学非常勤講師。早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。専門は俳文学で、松尾芭蕉の俳諧や俳論を研究している。著書『蕉風俳論の付合文芸史的研究』(ペリかん社、2007年)、共著『連歌辞典』(東京堂出版、2010年)、『『おくのほそ道』解釈事典—諸説一覧』(東京堂出版、2003年)など。				
内容	連歌や連句は、付合(つけあい)文芸と呼ばれる種類の詩です。付合文芸とは、複数の作者が、「五・七・五」と「七・七」を交互に詠み連ねながら、次々にその世界を転じさせてゆく形式の詩のことです。この文芸は、日本文学史的にも、また広く世界を見渡してみても、きわめて特殊な性格をもっているといえます。				
	現在、俳句は多くの人たちに親しまれていますが、江戸時代に先に大流行したのは、連句(俳諧)の方でした。また、芭蕉自身も弟子たちに対して、「自分は発句(俳句)よりも連句の方が得意である」と言っていたのです。芭蕉の俳句は大変有名ですが、もっと自信があると芭蕉が自負していた連句を一緒に読んで、その面白さを味わってみませんか? 今回は、江戸時代に大変人気を博した『猿蓑』という芭蕉一門の句集のなかから、「鳶の羽も」の巻という連句作品を選んで、一卷(三十六句)を最初から最後まで通して読んでみたいと思います。				
	① 6月30日: 「鳶の羽も」の巻の連句鑑賞 (3) (4) 120分				

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」をよくお読みの上、ご参加ください。